

公益財団法人瑞鳳殿運営基本方針

○仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯の伊達家墓所の調査研究と保存整備を行い、あわせて、当該施設の鑑賞機会を提供し、文化の向上に寄与する。

○伊達家霊廟等に関する資料と情報を集積し、展示や学習支援等を通して広く活用するとともに、文化遺産として次世代に継承する。

○瑞鳳殿の催しや観光等に関する情報を積極的に発信し、あわせて、施設の案内機能を充実する。また、施設の整備や老朽化対策を実施し、観覧者の誰もが安全に且つ安心して鑑賞できる環境をつくる。

○観覧者が再び訪れたいと感じるイベント等を企画し、観覧料が主な収入源である当財団の収益力の向上と財務基盤の安定化に努め、公益目的事業の拡大を図る。

○瑞鳳殿や伊達家とゆかりのある地域や団体等との交流を通して職員の歴史認識を深め、観覧者に対して質の高いサービスを提供する。